			交 開講年度 令和05年度	(2023年度)	授業科目	ドイツ語 I			
<u>11口</u> 至	温島工業高 磁情報								
科目番号	-	0075		科目区分	一般 / 必修				
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位:	2			
開設学科	4	電気電	子工学科	対象学年	4	-			
開設期		通年		週時間数	前期:2 後期				
教科書/勃 担当教員		Start fr 保坂 直		※社、『やさしい!ドイツ語の学習辞典』同学社					
到達目	 標	•							
A1-1 (C	CEFR=∃−I	コッパ言語共	共通参照枠)						
ルーブ	`リック								
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	の目安	未到達レベルの目安			
評価項目1			具体的な欲求を満足させるための 、よく使われる日常的表現と基本 的な言い回しは理解し、用いるこ とができる。	基本 片体的ないがを側近とせるに		具体的な欲求を満足させるための 、よく使われる日常的表現と基本 的な言い回しを理解できない。			
評価項目	∄2		自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報についても、質問したり、名えたりすることができる。	へ いであるか、持ち物	や誰と知り合 などの個人的 る程度は質問	自分や他人を紹介することや、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問したり答えたりすることができない。			
評価項目3			もし相手がゆっくり、はっきり。 話して、助けが得られるならば、 簡単なやりとりをすることができ る。	話して、助けが得ら	れるならば、	もし相手がゆっくり、はっきりと 話して、助けが得られたとしても 、簡単なやりとりができない。			
学科の	到達目標耳	頁目との関	图係						
教育方									
学習者が語り合いながら、共同作業しな				ら、簡単な日常的コミュニケーションが可能な程度の基礎的語学力を養うこ の見方に触れて、さまざまな異文化と共存できる深い視野を身につける。					
授業の進	並 め方・方法	の方法原 試験はT)の3つ (感染原	学習は初級ドイツ語全体を習得するための基礎的知識となる。また、さまざまな語学を実践的に学習するため 覚を養う。内容・方法ともCEFRに拠る。 p1(話すテスト)、Typ2(文構造理解・語彙などの総合テスト)、Typ3(初めて見るテキストを読むテスト E組み合わせて行う。 止措置で試験方法を変更した場合、3つのテストの評価割合を変更することがあります)						
注意点		題学習な	授業ではペアワーク、グループワークなどの活動の時間が多い。 外国語習得のためには授業の後、テキストの音読や課題学習などを含む復習で60分程度の自学自習が必要である。「書き言葉」での試験以外に「声」を使って人と語り合う試験があるので、声を出す練習は教室・自宅で十分にしてほしい。自学自習60分/1Wが必要である。会話練習では他者を配慮して語り合う練習を特に重視する。(*B5ノートが必要です・提出用・ルーズリーフ不可だが4タブレットは可)						
		会話練習	習では他者を配慮して語り合う練習を	『で十分にしてほしい。自	学自習60分/	1Wが必要である。			
 授業の)属件・履(会話練習	習では他者を配慮して語り合う練習を ットは可)	『で十分にしてほしい。自	学自習60分/	1Wが必要である。			
	 属性・履作 ティブラーコ	会話練習 タブレッ 多上の区分	習では他者を配慮して語り合う練習を ットは可)	『で十分にしてほしい。自	学自習60分/	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか			
		会話練習 タブレッ 多上の区分	習では他者を配慮して語り合う練習を ットは可) <mark>}</mark> 	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 	学自習60分/	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だカ -			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タブレッ 多上の区分	習では他者を配慮して語り合う練習を ットは可) <mark>}</mark> 	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 	学自習60分/	1Wが必要である。			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タブレッ 多上の区分	習では他者を配慮して語り合う練習を ットは可) <mark>}</mark> 	で十分にしてほしい。自特に重視する。(* B5.	学自習60分/	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか □ 実務経験のある教員による授			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タブレッ 多上の区分 ニング	習では他者を配慮して語り合う練習を	で十分にしてほしい。自特に重視する。(* B5.	学自習60分/ ノートが必要で ごとの到達目標 ドイツ語の文字	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか □ 実務経験のある教員による授			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タブレッ 多上の区分 ニング 週	習では他者を配慮して語り合う練習を ・ トは可)	で十分にしてほしい。 情に重視する。(*B5. ☑ 遠隔授業対応	学自習60分/ ノートが必要で ごとの到達目標 ドイツ語の文字 簡単なあいさつ	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか □ 実務経験のある教員による授 に慣れる ができる			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タブレッ 多上の区分 ニング 週 1週	習では他者を配慮して語り合う練習を の トは可)	で十分にしてほしい。自特に重視する。 (*B5.// *B5.//	学自習60分/ ノートが必要で ごとの到達目 文で 当分と他者を記し 自分と他者を紹 自分と他者を紹	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 数) が使える 介できる (習熟度を高める)			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練習 タアング 多上の区分 ニング 週 1週 2週	習では他者を配慮して語り合う練習を が トは可)	で十分にしてほしい。自特に重視する。 (*B5.// *B5.//	学自習60分/ アートが必要で ごとの到達目文で 当分ので 当分のでで はないまでは 自分のでで はないまでは はいまでいるで はいまでいる。 はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまでは はいまで はいまで	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 数)が使える 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める)			
☑ アク:	ティブラーニ	会話練 タ 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	習では他者を配慮して語り合う練習を のトは可)	で十分にしてほしい。自特に重視する。(* B5. □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学自習60分/ アートが必要で ジートが必要で ジートが必要を で 当かの到達目文さい 自分がたれるで 自力を は 自見りを に も は い は は は は は は は は は は は は は は は は は	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だか ・提出用・ルーズリーフ不可だか に慣れるができる 介できる 数)が使える 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める)			
☑ アク:	ティブラーニー	会話練習 タブレッ 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	習では他者を配慮して語り合う練習を のトは可) □ ICT 利用 □ ICT NH □ ICT N	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 図 遠隔授業対応 3. 3. 住まい) 3. 住まい) 3. 住まい) 5. はまい) 6. はまい) 7. はまい) 7. はまい) 7. はまい) 8. はまい) 9. はまい 9. はまい 9. はまい 9. はまい) 9. はまい) 9. はまい) 9. はまい 9. はも 9. は 9. は 9. は 9. は 9. は 9. は 9. は 9. は	学自 600分要 で との 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが ・提出用・ルーズリーフ不可だが 実務経験のある教員による授 に慣れるができる かできる かできる (習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 現在人の変化が使える 介できる(習熟度を高める) 介できる(習熟度を高める) 介できる(習熟度を高める)			
図 アク: 授 業計	ティブラーニー	会話練習 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	習では他者を配慮して語り合う練習を が トは可) □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ ICT 利用 □ Kennenlernen> 知り合う 自分と他者を紹介する(名前・出身 <kennenlernen> 人と知り合う 自分と他者を紹介する(名前・出身 <kennenlernen> 人と知り合う 自分と他者を紹介する(名前・出身 <kennenlernen> 人と知り合う 自分と他者を紹介する(名前・出身 (Kennenlernen> 人と知り合う 自分と他者を紹介する(言語・専巧</kennenlernen></kennenlernen></kennenlernen>	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 図 遠隔授業対応	学自体の (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる かかできる 数)が使える 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める)			
図 アク: 授 業計	ティブラーニー	会話すり 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	習では他者を配慮して語り合う練習を のトは可)	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 図 遠隔授業対応 3. (* B5. 日 3. 住まい) 3. 住まい) 3. 住まい) - 「 1. 「 2. 「 3. 「 3. 「 4. 「 5. 「 5. 「 7. 「 7. 「 7. 「 7. 「 7. 「 7. 「 7. 「 7	学自760分要 で	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) が使える 介できる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) がきる(習熟度を高める) 話番号を伝えられる			
図 アク: 授 業計	ティブラーニー	会話すり 会話プレッ 多上の区分 こっか 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 7週 100	習では他者を配慮して語り合う練習を のトは可) □ ICT 利用 □ ICT NH □ ICT N	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 特に重視する。(* B5. ② 遠隔授業対応 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・「 ・・	学月 (学)	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが は、実務経験のある教員による授 に慣れるができる かできる ができる ができる(習熟度を高める)現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める)現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める)文が使える 介できる(習熟度を高める)文が使える 介できる(習熟度を高める) が使える 介できる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める)			
図 アク: 授 業計	ティブラーニー	会話すり 会話すり 多上の区分 こっぱっ 週	では他者を配慮して語り合う練習を がします。 とは可) 「ICT 利用 「授業内容 ・オリエンテーション・ 〈Begrüßung〉あいさつ 〈Kennenlernen〉知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(言語・専び 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(言語・専び 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(言語・専び 〈Ferizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 特に重視する。(* B5.	学月 (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) 3疑問文が使える 介できる(習熟度を高める) 3疑問文が使える 介できる(習熟度を高める) 3疑問文が使える 介できる(習熟度を高める) 3疑問文が使える 計を理解できる 話番号を伝えられる 数)が使える 書ける の現在人称変化を理解できる			
	ティブラー <u>ニ</u> 画 1stQ	会話 2 会話 2 会話 2 会 会 会 会 会 会 会 会 会	では他者を配慮して語り合う練習を がします。 「とは可」とは可)とはではできます。 「は可)とではできます。 「大きないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできます。」 「ないますないとできますないとできます。」 「ないますないとできますないとないとないとないとないますないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとないとな	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5. 場・住事視する。(* B5. り	学月 (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学月) (学	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) 立が使える 介できる(習熟度を高める) ができる(習熟度を高める) 記話番号を伝えられる 数)が使える 書ける の現在人称変化を理解できる とができる の現在人称変化を理解できる とができる			
図 アク: 授 業計	ティブラーニー	会話すり	では他者を配慮して語り合う練習を がします。 とは可) 「ICT 利用 「投業内容 ・オリエンテーション・名とのでは、名前・出身である。」ではできます。 「大きないったである。」では、大きないったである。と知り合う。自分と他者を紹介する(名前・出身である。と知り合う。自分と他者を紹介する(名前・出身である。と知り合う。自分と他者を紹介する(言語・専びると他者を紹介する(言語・専びると他者を紹介する(言語・専びると他者を紹介する(自由に話する)をでは者を紹介する(自由に話する)をでは者を紹介する(自由に話する)をできませる。	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5」 「型」遠隔授業対応 「型」遠隔授業対応 「・「 ・「 ・「 ・「 ・・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・	学	1Wが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができる 介できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化を理解できる 介できる(習熟度を高める) 現在人称変化が使える 介できる(習熟度を高める) 文が使える 介できる(習熟度を高める) なができる(習熟度を高める) 対在とる 介できるの対応できる 計番号を伝えられる 数)がを理解できる 計番号を伝えられる 数)がる 書ける の現在人称変化を理解できる とができる とができる ができる			
図 アク:	ティブラー <u>ニ</u> 画 1stQ	会対 会対 会対 会対 会対 会対 会対 会対	マには他者を配慮して語り合う練習を のトは可) ICT 利用 授業内容 ・オリエンテーション・〈Begrüßung〉あいさつ 〈Kennenlernen〉知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(名前・出身 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(言語・専び 〈Kennenlernen〉人と知り合う自分と他者を紹介する(言語・専び 〈Kennenlernen〉人と知り合う専びく性者を紹介する(言語・専び 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする 〈Freizeit〉自由時間自由時間の使い方を話題にする	で十分にしてほしい。自 特に重視する。(* B5」 「型」遠隔授業対応 「型」遠隔授業対応 「はまい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・住まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・任まい) 「別・日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本の	学月 (学)	IWが必要である。 す・提出用・ルーズリーフ不可だが □ 実務経験のある教員による授 に慣れるができるができるができるのができるのができるのが使えるのかできるのが使えるのかできるのできるのができるのができるのができるのができるのができるのができるのがで			

		15週	 読むテスト(Typ3) 答案返却			辞書を使って書き言前期の項目について		 ある				
		16週	77,7									
	3rdQ	1週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・日常の行動について表現できる ・分離動詞が理解できる						
		2週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・一週間の予定について述べることができる ・分離動詞を使うことができる						
		3週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・会う約束をすることができる ・分離動詞(助動詞)の語順が理解できる						
		4週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・「できること」を表現できる ・könnenを使うことができる						
		5週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・「しなければならないこと」を表現できる ・müssenを使うことができる						
		6週	<tagesablauf>一日の行動 時間表現を入れて一日の行動を話題にする</tagesablauf>			・「したいこと」を表現できる ・möchtenを使うことができる						
		7週	<wohnen>住まい 家・部屋の様子を話題にする</wohnen>			・家・部屋の様子を説明できる ・名詞の性と格が理解できる						
後期		8週	<wohnen>住まい</wohnen>			・家・部屋の様子を 詞・否定冠詞の主権	と説明できる ・ 各・目的格を理解で	定冠詞・不定冠 ごきる				
	4thQ	9週	<wohnen>住まい</wohnen>			・家・部屋の様子を 詞・否定冠詞の主権	を説明できる ・ 各・目的格を理解で	定冠詞・不定冠ごきる				
		10週	<wohnen>住まい</wohnen>			・家・部屋について意見を言うことができる ・定 冠詞・不定冠詞・否定冠詞の主格・目的格が使える						
		11週	<wohnen>住まい</wohnen>			・家・部屋について意見を言うことができる ・所有冠詞の主格・目的格を理解できる						
		12週	<wohnen>住まい</wohnen>			・住居の広告を理解できる ・所有冠詞の主格・目的格を理解できる						
		13週	<wohnen>住まい</wohnen>			・住居の広告を理解できる ・所有冠詞の主格・目的格が使える						
			話すテスト(Typ1)			後期の内容を踏まえてグループで自由な会話ができる						
		15週	読むテスト(Typ3) 答案返却			辞書を使って書き言葉のテキストを読める 後期の項目について達成度を確認						
		16週										
評価割合												
		すテスト yp1)	総合テスト (Typ2)	読むテスト (Typ3)	態度・課題(-10)	ポートフォリオ	その他	合計				
総合評価割	合 26	1	60	14	0	0	0	100				
基礎的能力	13		30	7	0	0	0	50				
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0				
分野横断的	能力 13		30	7	0	0	0	50				